

事務連絡
平成 27 年 12 月 8 日

各都道府県建築主務課長 殿

国土交通省住宅局建築指導課

旭化成建材(株)等によるくい施工データの流用等が判明した物件に関する
セメントミルクの使用状況を確認する方法について

旭化成建材(株)によるくい施工データの流用等が判明した物件に関する杭の支持層到達を確認する方法については、平成 27 年 11 月 26 日付け事務連絡で送付しておりますが、セメントミルクの使用状況を確認する方法について、本日開催された「第 4 回基礎ぐい工事問題に関する対策委員会」における審議を踏まえて、別添資料のとおりとりまとめましたのでお送りいたします。

施工データの流用等が判明した物件について、「くいの支持層到達を確認する方法」及び「セメントミルクの使用状況を確認する方法」を参考として、施設管理者、工事施工者等に対し、くいの支持層到達状況及びセメントミルクの搬入・使用状況の調査を早急に実施して結果を報告するよう求め、その状況を下記要領により国土交通省に報告してください。

なお、本事務連絡には、平成 27 年 11 月 26 日付け事務連絡及び同 27 日付け事務連絡において報告を依頼した内容が含まれていることを申し添えます。

また、調査結果については、個人情報等の取扱いに配慮の上、公表する予定であることを申し添えます。

この旨、貴管内の特定行政庁に対しても、周知していただきますようお願いします。

記

1. 報告内容

- 別添様式 2 及び別添様式 2（COPITA 用）による支持層到達状況調査及びセメントミルクの使用状況調査の状況（11/26 付け事務連絡の様式を一部変更したもの。）

なお、特定行政庁として、調査結果が概ね妥当と判断できる段階になりましたら、事前に国土交通省まで連絡してください。

- 説明資料

（1）支持層到達状況関係

＜支持層到達確認類型 A・B の場合＞

- a. 杭伏図（データ流用等のあったくいの位置、設計段階（又は施工段階）の地盤調査の位置及び支持層深さ、試験ぐい又は試験堀の位置及び支持層深さ、データ流用等のなかったくい位置における支持層深さ（深さがわかる場合）、くい先端深さ等を記載。）
- b. 柱状図及び想定地盤断面図（設計段階の地盤調査に基づくもの）

- c. 杭リスト（施工記録から、くい毎に、くい径、くい長、くい頭高、くい先端深さを整理）

＜支持層到達確認類型 C の場合＞

- ・ データ流用等のあったくいの施工段階において、発注者等が立会い、適切に施工されたことをチェックした記録を説明する資料。

＜支持層到達確認類型 D の場合＞

- ・ 支持層到達確認類型 A・B の場合と同じ。但し、a. 杭伏図に、追加ボーリング調査等の位置及び支持層深さを記載するとともに、b. 柱状図及び想定地盤断面図に、追加ボーリング調査等の情報を記載すること。

（2）セメントミルクの使用状況関係

＜セメントミルク確認類型 A の場合＞

- ・ データ流用等のあったくいの施工段階において、発注者等が立会い、設計セメント量に従った使用がなされたことを確認したことを説明する写真・台帳等の記録

＜セメントミルク確認類型 B の場合＞

- a. 施工計画書等、施工計画上必要なセメント量を確認※した書類
- b. 納品書等、入荷セメント量を確認した書類
- c. セメントミルクに関する受払表

※施工計画書が施工当時の書類であることなどにより、施工計画書の計画配合量に流用がないことを確認してください。

2. 報告期限

（1）支持層到達状況の調査について

- ・ 第一段階：11月30日（月）中

旭化成建材の先行調査対象 82 件 → 調査終了

- ・ 第二段階：12月10日（木）中

旭化成建材の残りの 278 件及び一般社団法人コンクリートパイル建設技術協会（COPITA）の正会員社の 22 件のうち、公共物件の支持層到達確認類型 A～C に該当するものについて、原則として調査を終了させるとともに、公共物件の支持層到達確認類型 D に該当するものについては、ボーリング調査等のスケジュール（原則として年内）を確定させてください。また、民間物件については、少なくとも、A～D の類型区分（予定）、支持層到達確認類型 D に該当する場合の追加ボーリング調査等のスケジュールの予定（可能な限り年内）を記載してください。

- ・ 第三段階：12月17日（木）中

旭化成建材の残りの 278 件及び COPITA の正会員社の 22 件のうち、民間物件についても、支持層到達確認類型 A～C に該当する物件については、原則として調査を終了させるとともに、支持層到達確認類型 D に該当する物件については、ボーリング調査等のスケジュール（可能な限り年内）を確定させてください。

（2）セメントミルクの使用状況の調査について

- ・ 第一段階：12月9日（水）中

旭化成建材の先行調査対象 82 件のうち、セメントミルク注入量のデータ流用等が

あった 27 件について、調査を終了させてください。

・ 第二段階：12 月 17 日（木）中

旭化成建材の残りの 278 件及び COPITA の 22 件のうち、セメントミルク注入量のデータ流用等があったもの全てについて、原則として調査を終了させてください。

3. 報告・問い合わせ先

国土交通省住宅局建築指導課建築安全調査室

電話 03-5253-8111（代表）、03-5253-8933（夜間直通）

○支持層到達状況関係

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| ・北海道及び東北・北陸・中部の各地整管内 | 山田（内 39504） |
| ・関東地整管内 | 東條（内 39505）、高梨（内 39519） |
| ・近畿・中国・四国・九州の各地整管内 | 木村（内 39506） |

○セメントミルクの使用状況関係

荒川（内 39525）、工藤（内 39526）

○その他全般

村田（内 39564）、大槻（内 39540）、斉藤（内 39541）

<メールについては、必ず以下の 9 人全員宛てに、送信をお願いいたします。>

yamada-t2yt@mlit.go.jp, tojo-a279@mlit.go.jp, kimura-y8316@mlit.go.jp,
murata-h2s7@mlit.go.jp, otsuki-y25x@mlit.go.jp, arakawa-t226@mlit.go.jp,
takanashi-j2b3@mlit.go.jp, kudou-t2tj@mlit.go.jp, saitou-s2jm@mlit.go.jp